

回覧

六会地区 防災リーダーニュース

発行 六会地区防災リーダー連絡会
事務局 六会市民センター 地域担当
電話 81-6677

千葉県西部防災センターに行ってきました！

視察研修が1月25日（木）に行われました。

参加者20名で、今年度は千葉県松戸市にある「西部防災センター」にて4種類の体験学習をしました。



<消火体験>



<ガイドの説明を真剣に聞き入ります。>

○「火災と消火の科学」では火災についての知識と初期消火の重要性について学び、消火器の取り扱いと実施訓練を行いました。

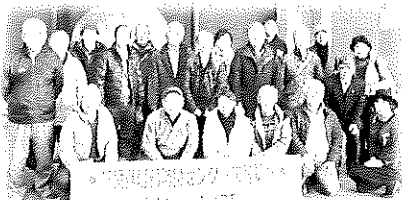
火災発生時には「火事だー！」と大声を出して周りに知らせることが大切です。

○「避難と安全」では火災時の煙から避難するには、体を低くして壁伝いに逃げること。

○「地震の科学」では、起震装置において震度6.5および震度6を体験し、その差を実感しました。

○「風水害の科学」では風速30m/秒を体験しました。

○非常持ち出し品（水・食料等）は各部屋及び屋外物置、車等にも保管することが大切です。



<風速30mを体験>

救急救命講習会が開催されました

2月17日(土)、六会市民センターにおいて「救急救命講習」が開催されました。



《北消防署御所見出張所の職員と参加者の皆さん。わかりやすく丁寧にご指導いただきました。》



当日は、北消防署御所見出張所の職員と普及員の方々にご指導いただきました。

思わぬ事故等により、心肺停止状態になった人がいた場合、救急車を呼ぶことはもちろんですが、救急車が到着するまでの間に応急処置(心肺蘇生法)を行うことで、助かる確率が約2倍になります。そういった意味から、救急救命講習を受講することの大切さがわかります。



《AED操作訓練》

防災リーダー連絡会では、この救急救命講習を毎年恒例事業として実施しています。今年参加できなかった方は、ぜひ来年ご参加ください！

— 防 災 に つ い て

「防災」には大きく3つの考え方があります。まず「できるだけ自然災害による被害を出さないようにする」という「災害予防」の考え方です。身近な例えで言えば、耐震補強や様々な防災教育・訓練などです。次に「自然災害が起きてしまった、もしくは起きそうな場合に、その被害をなるべく小さくする」という「応急対策」の考え方です。応急手当や初期消火、大雨の時などの各種警報や避難誘導、避難所運営などがその一例です。そして「災害による被害から立ち直る」という「災害復旧」の考え方です。被害を受けてしまった家や建物を直したり、被災された方々が新しい生活へと踏み出したりしていくための様々な手続きや支援などです。これらの考え方は「災害対策基本法」という、日本の防災対策全般にかかわる法律で示されている、基本的な概念です。



☆防災リーダー連絡会の活動の様子や、過去の防災リーダーニュースをご覧になりたい方は、《六会地区ポータルサイト》をご覧ください。

<http://fujisawa-mitsuai.ecom-plat.jp/>もしくは「六会地区ポータルサイト」で検索

☆編集担当自治(町内)会：石川丸石・西俣野下・石川南原・石川下町